

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

予算審査特別委員会教育未来分科会記録

日	令和7年2月19日（水）（第1回定例会）			
時	午後2時14分 開議（ 休 憩 な し ） 午後2時17分 散会			
場 所	第4委員会室			
出席委員	三 井 美和香	須 藤 博 文	茂 呂 一 弘	大 平 真 弘
	石 川 弘	岩 井 雅 夫	川 合 隆 史	盛 田 眞 弓
	森 山 和 博	中 島 賢 治		
欠席委員	な し			
担当書記	岡 田 昌 樹 遠 藤 知 美			
説 明 員				
協議案件	指摘要望事項の検討			
そ の 他				
主 査 三 井 美 和 香				

午後 2 時14分開議

○主査（三井美和香君） ただいまから、予算審査特別委員会教育未来分科会を開きます。

本日の審査日程につきましては、指摘要望事項の検討でございます。

傍聴の皆様申し上げます。分科会傍聴に当たっては、傍聴証記載の注意事項を遵守いただきますようお願いいたします。

指摘要望事項の検討

○主査（三井美和香君） 委員の皆様には、予算審査特別委員会教育未来分科会としての指摘要望事項の検討をお願いいたします。

まず、正副主査案を副主査より発表いたします。須藤副主査。

○副主査（須藤博文君） 指摘要望事項案、こども未来局については、1、千葉県こども・若者基本条例の制定に基づく各種施策展開に当たっては、こどもの権利救済委員制度について、相談しやすい環境整備に努めるとともに、権利の侵害等を受けた場合において、実効性を持って迅速な救済と権利の回復が図られるよう支援に取り組まれない。

また、こども・若者の社会参画については、条例の目的に沿った役割が果たせるよう、様々な環境下にある子供・若者からの意見聴取と体系的な事業推進に努められたい。

2点目は教育委員会についてです。2、不登校対策については、今後も不登校児童生徒の増加が見込まれることから、既存の施策を工夫しながら展開するとともに、個別最適な学びの機会の充実によるきめ細やかな支援と保護者への丁寧な情報提供に努められたい。また、フリースクール等の民間事業者との連携強化や利用者の経済的負担の軽減策の検討とともに、義務教育を担う教育委員会において主体的に不登校児童生徒への支援策の拡充を図り、誰一人取り残さない教育の実現に取り組まれない。

以上です。

○主査（三井美和香君） 正副主査案については以上ですが、いかがでしょうか。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） これ、案を示された後に、各委員からということで、川合委員が要望されていたものは入っているのでしょうか。

○主査（三井美和香君） 入っています。盛田委員。

○委員（盛田眞弓君） 分かりました。

以上です。

○主査（三井美和香君） 指摘要望事項については、以上のとおり決定いたします。

なお、分科会報告の作成等につきましては、正副主査に御一任願います。

以上で、予算審査特別委員会教育未来分科会を終了いたします。

長期間、慎重審査ありがとうございました。

午後 2 時17分散会